

ID: \_\_\_\_\_

## 吃音調査票

記入日： 年 月 日

記入者：

|      |      |         |
|------|------|---------|
| ふりがな | 生年月日 | 年 月 日   |
| 名前   | 男・女  | ( 歳 カ月) |

### 【これまでの経過】

1. 吃音が始まったのはいくつの時ですか。 \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ カ月 (又は \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月頃)

2. 一番最初に気付いたのは誰ですか。 ( \_\_\_\_\_ )

3. それはどんな場面だったでしょうか?どんなことをしているときでしたか。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

4. 初めての吃音はどのような感じでしたか。(当てはまるものに○をつけてください)

繰り返した ・ 引き伸ばした ・ つまって出ない 緊張していた / 緊張していなかった

その他

5. 吃音が始まった頃と今では吃音の様子に変化はありますか。

(当てはまるものがあれば○をつけてください)

- ① 繰り返しの回数が増えた。
- ② カんで話すようになった。
- ③ 吃音の量が増えた。
- ④ 言葉が出ないことが増えた。
- ⑤ 手足を動かしたり、身体を動かしたりして話すようになった。
- ⑥ 言いたいことを途中でやめるようになった。
- ⑦ その他 \_\_\_\_\_

6. これまでに吃音について他の病院や相談機関に相談しましたか。

ない ある

病院・機関名： \_\_\_\_\_ 頻度 \_\_\_\_\_ (現在は 継続 / 終了)

病院・機関名： \_\_\_\_\_ 頻度 \_\_\_\_\_ (現在は 継続 / 終了)

アドバイスを受けている場合、その内容をお書きください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【現在の様子】

1. お子さんは自分の吃音について気にしているようですか。

(当てはまるものがあれば○をつけてください)

- ① 気付いていない。
- ② 気付いているが気にしていない。
- ③ 少し気にしている。
- ④ 気にしている
- ⑤ とても気にしている。
- ⑥ その他\_\_\_\_\_

2. 吃音が軽くなったり、全くでなくなったりする時期はありますか。 はい ・ いいえ

『はい』の場合 ⇒ 周期はどれくらいですか。【 \_\_\_\_\_ 】

3. 特に吃音が出やすいと思われる場面がありますか。あればご記入ください。

---

---

4. 比較的、流暢に話せる場面はありますか。あればご記入ください。

---

---

5. 言いにくい音（五十音など）や単語はありますか。あればご記入ください。

---

---

6. お子さんはお話が好きな方、おしゃべりな方ですか。 はい ・ いいえ

7. お子さんについて特徴的だと思われることがありましたらお書きください。(体質や性格等)

---

---

8. ご家族や親族の中に吃音の人や以前吃音があった方はいますか。 はい ・ いいえ

『はい』の場合 ⇒ どなたですか 【 \_\_\_\_\_ 】

9. 以下の項目のうち当てはまるものをお選びください。(○または✓を付けてください)

|    |   | 全くあては<br>まらない | あてはまる | かなり<br>あてはまる |
|----|---|---------------|-------|--------------|
| 1  | 話す速度が速い。  |               |       |              |
| 2  | 話している時の抑揚が乏しい。  |               |       |              |
| 3  | 話している時の息つぎの箇所が不自然である。   |               |       |              |
| 4  | 吃音症状が出始めたのは、始語がみられたすぐ後である。  |               |       |              |
| 5  | 音や音節の省略があり、発話が不明瞭である。   |               |       |              |
| 6  | 言いたいことがあるのに次の言葉がスムーズに出せず、間が空いたり、「えっと」「だから」「あの」などが挿入される、あるいは頻繁に言い直したりする。 |               |       |              |
| 7  | 言葉の想起が出来ないために、最初の言葉を発する時に、発音する口の構えをしたまま止まることがある。                        |               |       |              |
| 8  | 言語構造に誤りがみられる。文法、構文の能力が低い。   |               |       |              |
| 9  | 順序立てて話すことが難しい。  |               |       |              |
| 10 | 頭の中でまとまる前に話している   |               |       |              |
| 11 | 注意散漫で集中力が乏しい  |               |       |              |
| 12 | 外向的な子供で発話意欲が高く、衝動的におしゃべりをする。  |               |       |              |
| 13 | 指示に従うことが苦手で、人の話をよく聞かない。   |               |       |              |
| 14 | 短気、衝動的で癩癩をおこしやすい、あるいは不注意でだらしない。   |               |       |              |
| 15 | 課題場面など統制された場面（発表の場や話す内容が決まっている場面）では吃音症状があまりみられない。                       |               |       |              |
| 16 | 運動的な不器用さや協調運動能力の乏しさがある。   |               |       |              |
| 17 | 利き手の確立が遅れる。左右の認識に混乱がみられる。   |               |       |              |
| 18 | 実年齢に比べて身体的、性格的に幼く見られることが多い。   |               |       |              |